

基地拡張は許さない 百里・初午祭に450人

空自百里基地（茨城県小美玉市）内にあり、誘導路を「く」の字に曲げさせている百里平和公園で、今年も2月11日に初午祭が開催されました。

1966年から続く伝統行事。公園は、「戦争のために土地は売らない」とたたかってきた百里農民と多くの一坪地主によって維持されています。

初午祭は“雪が降ろうと雨が降ろうと”実施するのが習わしですが、今年は暖かな日差しに恵まれた1日となりました。東京や千葉、埼玉など県内外から450人が参加。昨年は、「百里・憲法9

条の碑」除幕式を行いました。今年は公園に必要な水を確保するために「井戸」を掘ったことが報告されました。記念式典では、百里弁護団の内藤日平代表理事からのメッセージが紹介され、決意表明では木村県平和委代表理事が「県は、茨城空港を拡張し機能強化するという検討委員会を設置し、新



たに平行誘導路をつくろうとしている。茨城空港は軍民共用であり、誘導路は滑走路として百里基地が使用することになる。誘導路予定地には『自衛隊は憲法違反』と書かれた『九条の丘』の一部も含まれる。基地建設のための土地は絶対に渡さない。新誘導路の狙いをしっかり見定め、今まで以上に団結して反対の声を上げましょう」と訴えました（写真左）。主催者は、120 kgのもち米を炊いた赤飯や日本酒やノンアル類をたっぷり準備し、来場者をもてなしてくれました。

大型バスいっぱい参加 東京

百里裁判闘争からずっと支援・連帯を続けている東京平和委員会。今年も「百里・初午まつりバスツアー」を開催。近年は20人乗りマイクロバスでしたが、今年は仲間づくりや新たなつながりづくりを意識して45人乗りの大型バスで決行。37人が参加しました。

祭では今年も東京代表団一同で登壇（写真下）。奥村第3次新横田基地公害訴訟原告団団長は、「CV-22 オスプレイの横田基地からの撤去を求めることが、今回の裁判の大きな目標。百里のたたかいに学んで、米軍基地のあまりにもひどい実態を告発しながら、みなさんと連帯して引き続きがんばっていききたい」との連帯のあいさつをしました。

今回のツアーは初参加者が多く、ぜひ来年もとその場で呼びかけました。また、関心ごとや取り組みたいことなども平和委員会として募集。車中では井出都平代表理事の出発あいさつをはじめ、最後の最後まで様々な方からことあるごとに入会と平新購読が呼びかけました。結果として入会者を迎えることはできませんでしたが、婦人民主クラブの方などを中心に、会員でない8人と新たなつながりが生まれました。



■「2025年度軍拡予算案の問題点をえぐりだす」オンライン学習会

講師：冨塚明さん（日本平和委常任理事、ながさき平和委事務局長）

とき：2月21日（金）15時～16時30分

★参加申し込みはこちらから <https://forms.gle/wukvS6JvYVi52T6>